

明治三十年二月

大同江開航義鎮南浦領事館  
報告之件

外務省

丙午年二月廿五日接獲

通商局

三月廿二日

143

女  
漢  
表

表

第  
14  
号

此一年

號  
第  
四  
号

大同江航之件

本年春末非常温暖ニシテ極寒ノ時ト後  
 氏猶ホ華氏十七度(当館ニ於テハ每日午前六  
 時午後二時十時ノ三回驗温セリ)ニ止マル有様  
 ナリレヲ以テ本年解氷ハ意外ニ速カナルベシト推  
 測シ居リシガ果シテ一月十日頃ヨリ流出シ初メ  
 廿日頃ニ幅壹里ニ余ル大江一片ノ結氷ヲ見  
 ガル耳カ西岸ノ氷塊モ今ハ持チ去ラレ但時々  
 少許ノ流氷ヲ認ムルニ至レリ平壤ノ如キモ全  
 月廿三日ヨリ結氷融解シ廿四日ニ流出シ去  
 リ船渡ヲ用ヅルニ至レリト云ヘリ而ソ本月五日  
 至リ帆船朝日丸仁川ヨリ入港セリ是レ本  
 年当港入船ノ嚆矢ニシテ越エテ七月迄船慶  
 濟岸亦入港セリ而シテ鉄道棋津上流ハ氷塊ハ  
 危險アル耳カ特ニ保山萬景台向ハ氷塊堆積  
 シ居リ潮ノ干満ニ連レ上下スルヲ以テ危險最モ  
 大ナリト云故ニ当地平壤向安全ニ水路交通ノ便  
 ヲ得ルハ恐クハ本月末若クハ三月初旬ナルベシト鉄  
 道近ノ水路ハ毫モ危險ノ虞ナキニトナルハ載甯  
 地方ノ交通ハ安全ナルツ勿論仁川当地向ハ  
 平日ト異ナルトナシ土人ノ言ニ由ル本年ノ暖欠  
 ハ五十年来ナキ所ナルモ陰曆ヲ以テスレハ陰月モ  
 アハトナシ一朝俄然結氷ノ虞ナシトセスト云ヘ  
 ルモ此上多少ノ変化ハ免モ角復ヒ結氷等ハ  
 万無カルベシト信セリ

在朝鮮國鐵南浦

日本領事館

北  
洋  
表

右及御報告候故具

明治三十一年二月十日

在鎮南浦

領事館事務代理大木

在靛南浦  
日本領事館

外務次官小村壽太郎殿

在朝鮮國靛南浦

日本領事館

189

3-2037

0107